



第2回世界防災フォーラム

07_02-05



一般財団法人 世界防災フォーラム
代表理事 小野 裕一

www.worldbosaforum.com/2019/



世界防災フォーラムの目的

スイスの防災ダボス会議と連携し、国内外から産・官・学・民の防災関係者が集まる日本発(仙台発)の国際フォーラム

防災ダボス会議が欧米の防災専門家中心であるのに対し、本フォーラムは、アジアに重点を置き、広く市民も参加できるというユニークな特徴

東日本大震災に関する知見の共有や防災の具体的な解決策の創出等を踏まえ、「仙台防災枠組2015-2030」の推進及び「BOSAI」の主流化を仙台から世界へ浸透させることを目指す

World
BOSAIForum

Spin disaster knowledge to
Weave BOSAI wisdom

2nd Nov.9-12, 2019
IDRC 2019 in SENDAI JAPAN

Venue | Sendai International Center /
Kawauchi Hagj Hall, Tohoku University

BOSAI is a traditional Japanese term, indicating a holistic approach to reduce human and economic losses from disasters, which represents activities in all disaster phases, including prevention, recovery, response and mitigation.

www.worldbosaiforum.com 

World Bosaiforum Secretariat



東日本大震災の被災地に差し伸べていただいた国内外からの温かい支援への返礼の意味も込めて



WBF 2019の目標

仙台防災枠組2015-2030におけるグローバルターゲットE（2020年までに国家・地方の防災戦略を有する国家数を大幅に増やす）の達成のために、よりよい復興とは何か、心の復興とは何か、また、近年深刻化する気候変動による災害にどのように対処していけばよいか、さらに、AIやIoT技術などの先進技術の防災への応用・試み等、魅力的なコンテンツを発信することを目指した。

約50のセッションからなる国際会議とともに、「仙台防災未来フォーラム」「震災対策技術展」など関連行事を同時開催することで、防災の相乗効果を生み出すとともに、本フォーラムを通じて、多くの知恵を集約し、新たな連携や活動の「始まりの場」となるようなプラットフォームとなることも目指した。



WBF 2019

参加登録者 871(国連を含んだ国際機関、国内外の大学等の研究機関、国内外の政府関係者、地方自治体、企業等)
市民も含めると1000名以上の参加者

口頭セッション50
基調講演3
ポスター発表47
フラッシュトーク33
展示ブース14

前日祭(無料・一般公開)では、一般市民や報道関係者、登壇者・出演者なども含め、約450名が参加

上記前日祭、本体会議、ならびに同時開催関連イベント「仙台防災未来フォーラム」(11月10日)および「第10回震災対策技術展東北」(11月10日～11日)

仙台市主催のスタディツアー



Chair's Summary:

世界防災フォーラム2019における議論の主要テーマ・傾向を明らかにし、次回に向けた課題を述べた。主要テーマは以下8点:

- ① 仙台防災枠組ターゲットEで求められている国・地域の防災計画策定に関する進捗状況および課題
- ② 比較的新しい防災分野が成熟してきたこと、そして残る課題
- ③ 気候変動によるリスクの変化と不確実性
- ④ 防災における民間分野の重要性
- ⑤ 防災関連の新技术およびそれらの課題
- ⑥ 若い世代・次世代の専門家らの活躍とさらなる参画の重要性
- ⑦ 災害記憶と防災意識の存続
- ⑧ 復興が可能であること。また、第3回世界防災フォーラムにおいて、民間セクターおよび若年層のより積極的な参画を促すこと、また、学際的なアプローチに関する企画度の高いセッションを行うこと



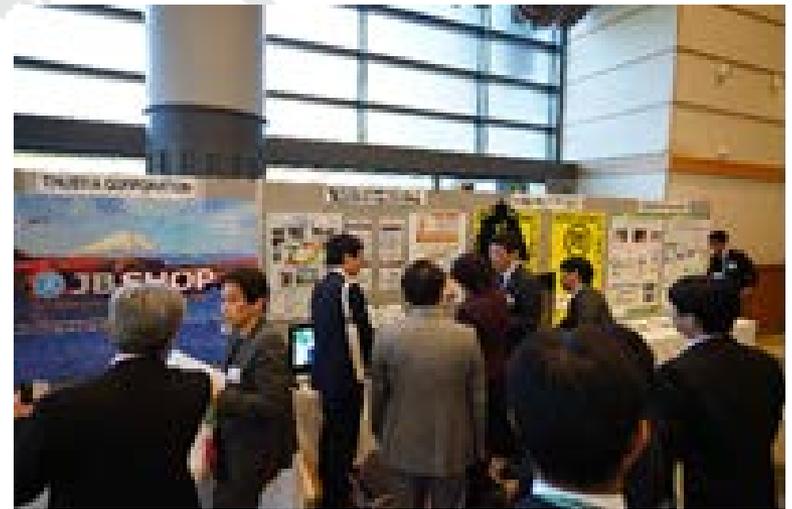
前日祭



口頭セッション



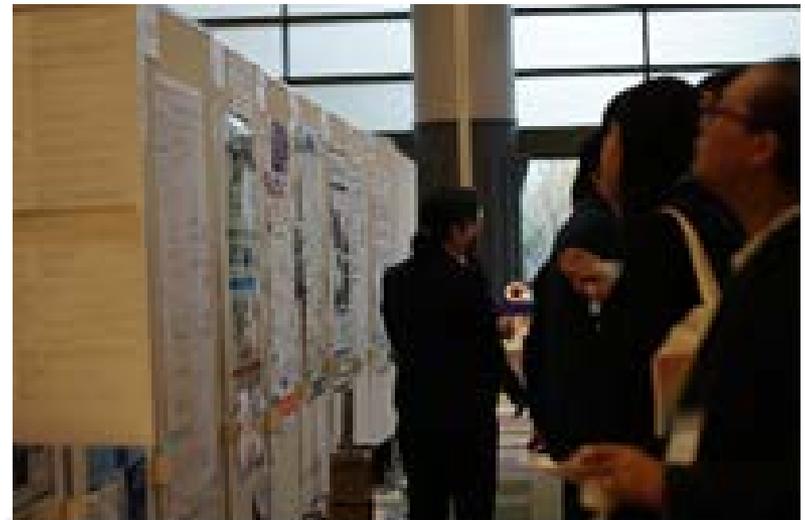
フラッシュトーク



交流広場・展示



ハイレベルランチ



ポスター



閉会式（ポスター表彰）



第3回 世界防災フォーラム

2021年11月19－22日の予定